

*対象学校種：小学校

1 博士号教員氏名	遠藤 金吾
2 授業のタイトル	【がん教育】がんを理解しよう
3 授業のねらい・育てたい力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの頃から自らの健康を適切に管理し、がんやがん予防に対する正しい知識を持つ。 ・ 子どもを通じて親世代を啓発する。 ・ 小中学校の教員に対する「がん教育」の普及、定着を図る
4 授業の概要	<p>【内容】 がんとは何かを理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(意義) 18歳未満の子供を持つがん患者は56,143人/年おり(国立がんセンター)、児童・生徒に対する「がん教育」が必要とされている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「細胞分裂が過剰に起こる病気である」 ・ 「うつる病気ではない」 ・ 「誰に対しても起こりうる病気で、誰のせいでもない(あなたのせいではない)」 ・ 「治ることも多い」 ・ 「風邪などと違って治療には長い時間がかかる」 <p>これらを易しい例などを挙げつつ、理解していく。</p> <p>「がん」について知らないことによって、親ががんになったときにストレスを感じる子供は多い。 →日本国民の2人に1人が生涯のうちがんに罹患する現在、問題である。 →がんとは何かを知ることは児童生徒自身の生涯にわたる健康管理の上でも重要である。</p> <p>【人数】 無制限</p> <p>【時間】 40～50分程度</p> <p>【その他】 教員対象の研修等も受け付けます。</p>
5 必要機材等	プロジェクター、スクリーン